

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組					
国語		論理国語 (2 単位)		3A、3B					
教科担当者:		(A組: 近)(B組: 近)(C組:)							
使用教科書:		新編 論理国語 (大修館書店)			使用教材等:		ワークシート・課題等		
学習目標:		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。							
観点別の評価基準									
【知識・技能】		【思考・判断・表現】			【主体的に学習に取り組む態度】				
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。		論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			言葉の価値に対する認識を深め、読書に親しみ自己を向上させる。言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学期	月	指導内容・単元		具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)		「論理」についての筆者の考えを読み取らせ、それをもとに自分自身の考えを持たせる。				6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)							
		ガイダンス			○		○		
		「論理的な人はどういう人か」野矢茂樹				○	○		
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休		(中間考査 5/14-19)				8	
		「論理的な人はどういう人か」野矢茂樹				○	○		
		中間考査			○	○	○		
		「論理」への第一歩			○	○	○		
	6月	「突然変異と進化の関係」長沼毅		具体例の役割を意識し、論理の展開を捉えさせる。 具体と抽象の関係について、理解を深めさせる。	○		○	8	
		「ウサギの耳はなぜ長い？」上田恵介				○	○		
		「ウサギの耳はなぜ長い？」上田恵介				○	○		
		「ウサギの耳はなぜ長い？」上田恵介 具体と抽象を使いこなそう			○	○	○		
	7月	期末考査 答案返却		(期末考査 7/1-7)	○	○	○	6	
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)							
		(夏季休業中)							
		(夏期休業中)							
	8月								
	2 学 期	9月	「米の種類と食文化」稲垣栄洋		対比の役割を意識し、論理の展開を捉えさせる。		○	○	8
「対話の精神」平田オリザ			○			○			
「対話の精神」平田オリザ				○		○			
「対話の精神」平田オリザ				○		○			
10月		「対話の精神」平田オリザ 対比を使って主張する		効果的な対比の用い方について、理解を深めさせる。 (中間考査 10/14-17)		○	○	8	
		中間考査			○	○			
		「文化としての科学」池内了				○	○		
		(セーフティ教室・農高祭準備)							
11月		(農高祭)		(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6) 筆者の主張と根拠の役割を的確に捉えさせる。	○		○	8	
		「『考える葦』であり続ける」小川和也				○	○		
		「『考える葦』であり続ける」小川和也				○	○		
		「『考える葦』であり続ける」小川和也				○	○		
12月		「『考える葦』であり続ける」小川和也 期末考査		文章の構成や論理の展開に注目し、要旨を把握させる。 (期末考査 12/8-12)	○	○		6	
		答案返却、行事							
		HR指導、学校行事、終業式							
		(冬季休業中)							
3 学 期		1月	(冬季休業中)		異なる立場の文章を比べ、考えを深める。 対比の役割を意識し、論理の展開を捉えさせる。		○	○	8
			「『言葉の揺れ』を認めるか」			○		○	
	「紙の本はなくならない」内田樹			○		○			
	「紙の本はなくならない」内田樹			○		○			
	2月	「紙の本はなくならない」内田樹 レポートを書く		構成や記述に配慮し、読みやすいレポートを書かせる。 (自宅学習・入選・採点2/20-25)	○	○	○	8	
		レポートを書く			○	○	○		
		レポートを書く			○	○	○		
	3月	学年末考査 答案返却、卒業式予行・卒業式		(学年末考査 3/2-6)	○	○		4	
		HR指導、学年集会、行事							
		(行事・特別指導)、修了式、							
		(春季休業中)							
履修上の注意						予定時数計		78	
特記事項等									

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数			対象学年・組					
国語		文学国語		(2 単位)	3 B					
教科担当者：		(A組：)		(B組： 近)	(C組：)					
使用教科書：		新編 文学国語 (大修館書店)			使用教材等：		課題プリント等			
学習目標：		国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。								
観点別の評価基準										
【知識・技能】				【思考・判断・表現】			【主体的に学習に取り組む態度】			
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたりすることができるようにする。			授業中の参加する姿勢や態度、発言や発問に対する回答、ノート・課題・プリント等への取り組みと提出状況を総合的に評価する。			
学期	月	指導内容・単元			具体的な指導内容・評価方法		知	思	態	予定 時数
1 学 期	4月	(春季休業中)								6
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)			登場人物の視点や表現の特色に					
		ガイダンス			注目し、その働きを意識しながら					
		「待合室」内海隆一郎			読ませる。		○		○	
	5月	「待合室」内海隆一郎						○	○	8
		オンライン学習デー(行事)、大型連休			(中間考査 5/14-19)					
		「待合室」内海隆一郎			筆者の考える、短歌が人を感動			○	○	
		中間考査			させるための方法を読み取らせ		○	○		
	6月	「共感と驚嘆」穂村弘			る。		○		○	8
		「共感と驚嘆」穂村弘						○	○	
		「共感と驚嘆」穂村弘			引用された作品を読み、本文の			○	○	
		「共感と驚嘆」穂村弘			解釈を深めさせる。			○	○	
	7月	短歌・俳句			形式や表現に注意して短歌・俳		○		○	6
		短歌・俳句			句を読み味合わせる。		○		○	
		短歌・俳句						○	○	
		期末考査					○			
8月	答案返却								6	
	(セーフティ教室・学年集会・終業式)			(期末考査 7/1-7)						
	(夏季休業中)									
	(夏期休業中)									
	8月									
2 学 期	9月	「離さない」川上弘美			登場人物の描写から、場面ごと		○		○	8
		「離さない」川上弘美			の心情の変化を読み取らせる。			○	○	
		「離さない」川上弘美			作品の状況設定を的確に捉え、			○	○	
		「離さない」川上弘美			寓意性を読み取らせる。			○	○	
	10月	「離さない」川上弘美						○	○	8
		源氏物語			登場人物の設定や描写の仕方を		○		○	
		源氏物語			捉え、読みを深めさせる。			○	○	
		中間考査			(中間考査 10/14-17)		○		○	
	11月	「山椒魚」井伏鱒二					○		○	8
		(セーフティ教室・農高祭準備)								
		(農高祭)			《農高祭・振休・ボランティア					
		「山椒魚」井伏鱒二			の日 11/1-11/6)			○	○	
	12月	「山椒魚」井伏鱒二			登場する生き物たちの性格や心			○	○	6
		「山椒魚」井伏鱒二			理を読み取らせる。			○	○	
		「山椒魚」井伏鱒二					○	○	○	
		期末考査			話のおもしろさと、そこに込め		○	○		
3 学 期	1月	答案返却、行事			られた寓意を読み味合わせる。					8
		H R 指導、学校行事、終業式			(期末考査 12/8-12)					
		(冬季休業中)								
		「私たちの黄色」角田光代			さまざまな小説を読み、構成や		○	○	○	
	2月	「タイムリミット」朝井リョウ			表現の工夫を読み取らせる。		○	○	○	8
		「書斎」眉村卓					○	○	○	
		物語を紡ぐ						○	○	
					(自宅学習・入選・採点2/20-25)					
	3月									4
		学年末考査								
		答案返却、卒業式予行・卒業式								
		H R 指導、学年集会、行事			(学年末考査 3/2-6)					
履修上の注意							予定時数計		78	
特記事項等										

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数			対象学年・組									
数学	数学A	(	2	単位)	3-B								
教科担当者:	(A組:) (B組: 土屋) (C組:)												
使用教科書:	高等数学A (実教出版)			使用教材等:	ステップノート 数学A								
学習目標 基礎的・基本的な計算力を身につけ、自ら積極的に課題解決をしようとする態度を養う。													
観点別の評価基準													
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】									
数学Aにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。		確率を通じて、事象を整理する力、目的に応じて適切に変形したりする力、立式をし解を求める力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身につけることができる。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようしている。 また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。									
学期	月	指導内容・単元		具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数					
1 学 期	4月	(春季休業中)		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)				6					
		集合の要素の個数			○	○	○						
		場合の数			○	○	○						
		和の法則			○	○	○						
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休		(中間考査 5/14-19)	○	○	○	8					
		積の法則			○	○	○						
		中間考査			○	○	○						
		順列 1			○	○	○						
	6月	順列 2			○	○	○	8					
		階乗			○	○	○						
		条件がついた順列 1			○	○	○						
		条件がついた順列 2			○	○	○						
	7月	円順列		(期末考査 7/1-7)	○	○	○	6					
		重複順列			○	○	○						
		期末考査			○	○	○						
		答案返却			○	○	○						
2 学 期	9月	(セーフティ教室・学年集会、終業式)			○	○	○	8					
		(夏季休業中)			○	○	○						
		(夏季休業中)			○	○	○						
		(夏季休業中)			○	○	○						
	8月												
	10月	組合せ			○	○	○	8					
		組合せの総数の計算			○	○	○						
		組合せの利用 1			○	○	○						
		組合せの利用 2			○	○	○						
	11月	計算の工夫		(中間考査 10/14-17)	○	○	○	8					
		最短経路			○	○	○						
		まとめ			○	○	○						
		中間考査			○	○	○						
	12月	年末問題		(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)	○	○	○	8					
		(セーフティ教室・農高祭準備)			○	○	○						
		(農高祭)			○	○	○						
		確率と基本性質			○	○	○						
3 学 期	1月	独立な試行と確率		(期末考査 12/8-12)	○	○	○	6					
		反復試行の確率			○	○	○						
		条件付き確率			○	○	○						
		いろいろな確率			○	○	○						
	2月	まとめ		(自宅学習・入選・採点2/20-25)	○	○	○	8					
		答案返却、行事			○	○	○						
		H R 指導、学校行事、終業式			○	○	○						
		(冬季休業中)			○	○	○						
	3月	(冬季休業中)		(学年末考査 3/2-6)	○	○	○	4					
		10進法			○	○	○						
		2進法			○	○	○						
		10進法を2進法で表す			○	○	○						
履修上の注意	1月	2進法の足し算			○	○	○	8					
		約数と倍数			○	○	○						
		公約数と最大公約数			○	○	○						
		長方形と最大公約数			○	○	○						
	2月	ユークリッドの互除法			○	○	○	8					
					○	○	○						
					○	○	○						
					○	○	○						
	3月	学年末考査			○	○	○	4					
		答案返却、卒業式予行・卒業式			○	○	○						
		H R 指導、学年集会、行事			○	○	○						
		(行事・特別指導)、修了式、			○	○	○						
	3月	(春季休業中)			○	○	○	4					
					○	○	○						
					○	○	○						
					○	○	○						
履修上の注意					予定時数計		78						
特記事項等													

教科		科目名・単位数		対象学年・組				
理科	生物基礎	(2 単位)	3年B組					
教科担当者: (A組:) (B組: 永井) (C組:)								
使用教科書:		2東書・生基702 新編 生物基礎		使用教材等:	教科書・プリント・映像教材等			
学習目標:		中学および1年科学と人間生活で学習した内容を踏まえ、生物を通じて様々な生命現象の仕組みについて学び、我々人間と生物との関わりや、生物としてのヒトの機能について理解する。特に微生物や生物の分類、細胞構造の進め、機能について重点的に学び、遺伝の仕組みやDNAについても学習する。						
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
生物種や分類群に関する基礎的な事項や、生物としての最小単位である細胞についての理解について重点的に指導する。箇句の定義・使い分けを正確に理解し利用することができる。		図やグラフの読み取りや活用を重視し、重要事項については要点について過不足なく正しく説明することができることを目標とする。		授業中の参加する姿勢や態度、発言や発問に対する回答、ノート・課題・プリント等への取り組みと提出状況、授業に主体性を持って参加する姿勢や提出物等を総合的に評価する。				
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)	(中間考査 5/14-19)				6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)		○		○		
		ガイダンス、とびらの解説、生物の分類			○	○		
		1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性			○			
		生物の多様性、共通性、生物分類、細胞の特徴						
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休		○		○	8	
		細胞膜の働き オンライン学習デー、行事		○	○	○		
		中間考査		○	○	○		
		原核細胞と植物細胞、動物細胞と植物細胞			○	○		
		同化と代謝、生体でのATPの働き		○	○			
	6月	酵素の働き、呼吸と光合成		○	○		8	
		2編 遺伝子とその働き メンデルの遺伝の法則				○		
		1章 遺伝情報とDNA 生物と遺伝子、DNAの構造				○		
		DNAの複製と分配、期末考査範囲のまとめ				○		
7月	期末考査	(期末考査 7/1-7)	○	○	○	6		
	答案返却				○			
	(セーフティ教室・学年集会、終業式)							
	(夏季休業中)							
	(夏期休業中)							
8月								
2 学 期	9月	2章 遺伝情報とタンパク質の合成 DNAとRNA	(中間考査 10/14-17)	○	○	○	8	
		タンパク質、タンパク質の合成と遺伝情報			○	○		
		細胞の分化と遺伝子、体細胞分裂と発生			○	○		
		減数分裂と遺伝 3編 ヒトの唐田の調節 恒常性とは何か				○		
		ヒトの体を調節する仕組み、体内環境の維持		○	○	○		
	10月	神経系による情報伝達、交感神経と副交感神経			○	○	8	
		内分泌系による情報伝達、ホルモンとその働き			○	○		
		血糖濃度の調節、中間のまとめ、中間考査		○		○		
		答案返却と解説		○	○			
		(セーフティ教室・農高祭準備)						
	11月	(農高祭)		(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)				8
		2章 免疫の働き 免疫の仕組み、免疫の応用、ワクチン			○		○	
		免疫と様々な疾患、自己免疫反応			○	○	○	
		4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移 身のまわりの植生			○	○	○	
		植生の遷移、遷移とバイオーム				○	○	
12月	気候帯と植生の違い、期末のまとめ 期末考査	(期末考査 12/8-12)	○	○	○	6		
	期末考査		○	○	○			
	答案返却、行事				○			
	HR指導、学校行事、終業式							
	(冬季休業中)							
3 学 期	1月	(冬季休業中)	(自宅学習・入選・採点2/20-25)				8	
		2章 生態系と生物の多様性 生態系の仕組み		○	○			
		生態系における生物の多様性、個体数のバランス			○	○		
		生態系における生物館の関係、食物連鎖		○		○		
		生態系と人為的攪乱、森林破壊、環境の分断				○		
	2月	プラスチック投棄問題、乱獲と種の絶滅			○	○	8	
		生態系の保全、自然環境の保護と生活の両立			○	○		
		課題研究 地球環境と我々にできること		○	○	○		
		学年末のまとめ				○		
	3月	学年末考査		(学年末考査 3/2-6)	○	○	○	4
		答案返却、卒業式予行・卒業式					○	
		HR指導、学年集会、行事						
		(行事・特別指導)、修了式、						
		(春季休業中)						
履修上の注意				学校必修		予定時数計	78	
特記事項等				到達度・学習状況に応じて適宜補習・課題指導を実施				

予定時数計

78

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組					
保健体育		体育 (2 単位)		3年A組・B組					
教科担当者：(A組：高崎・中村) (B組：高崎・中村) (C組：)									
使用教科書：最新高等保健体育				使用教材等：					
学習目標：体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。									
観点別の評価基準									
【知識・技能】			【思考・判断・表現】			【主体的に学習に取り組む態度】			
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。			生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。			運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。			
学期	月	指導内容・単元		具体的な指導内容・評価方法		知	思	態	予定 時数
1 学 期	4月	(春季休業中)		・役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする。					6
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)		・課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。		○		○	
		オリエンテーション				○			
		陸上競技				○			
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休		(中間考査 5/14-19)				○	8
		陸上競技		・役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする。		○		○	
		中間考査		・課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。		○			
		バレー				○			
	6月	バレー		・チームの作戦に応じた守備位置から、拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。			○		8
		バレー		・チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。		○			
		バレー					○		
		バレー				○			
	7月	期末考査				○			6
		答案返却		(期末考査 7/1-7)			○		
		(セーフティ教室・学年集会、終業式)						○	
		(夏季休業中)							
2 学 期	8月								
	9月	スポーツフェスティバル練習		・チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。				○	8
		スポーツフェスティバル練習		・選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。		○		○	
		スポーツフェスティバル練習						○	
		スポーツフェスティバル練習						○	
	10月	スポーツフェスティバル練習		(中間考査 10/14-17)				○	8
		スポーツフェスティバル練習		・チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。		○	○		
		中間考査		・選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。		○		○	
		スポーツフェスティバル練習		(セーフティ教室・農高祭準備)					
	11月	(農高祭)		(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)		○		○	8
		長距離走		・自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。				○	
		長距離走					○	○	
		長距離走				○			
	12月	長距離走				○			6
		期末考査		(期末考査 12/8-12)		○		○	
		答案返却、行事						○	
		H R 指導、学校行事、終業式						○	
3 学 期	1月	(冬季休業中)							8
		長距離走		・自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。		○		○	
		長距離走				○			
		長距離走				○		○	
	2月	ターゲットバードゴルフ		(自宅学習・入選・採点2/20-25)		○			8
		ターゲットバードゴルフ		・フェアなプレイを大切にしようとしている。		○			
		ターゲットバードゴルフ		・練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマナーや行為について提案している。			○		
		ターゲットバードゴルフ							
	3月	学年末考査				○			4
		答案返却、卒業式予行・卒業式		(学年末考査 3/2-6)		○		○	
		HR指導、学年集会、行事						○	
		(行事・特別指導)、修了式、						○	
(春季休業中)									
履修上の注意							予定時数計		78
特記事項等									

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数		対象学年・組					
美術	美術Ⅰ	(2 単位)	3年A・B組					
教科担当者:	A組:古川 仁史 I: 古川 仁史 (C組:)							
使用教科書:	高校生の美術 116日文 美Ⅰ-702		使用教材等:	教科書 プリント 描画・彩色用具各種				
学習目標:	中学美術の内容を基礎として、各課題により美術表現の幅を広げ、感性を豊かにし、創造的な表現力を高め自己の価値観を形成する。また、美術文化への理解を深めることを目標とする。							
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
美術に関する知識と各課題での表現の技術の習得度合いの評価。		作品の作成、観察、分析、説明等、思考力を必要とする活動の評価。		美術に対して興味や関心を持ち、授業に意欲的に参加し、積極的に学習に取り組む姿勢への評価。				
	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数	
1学期	4月	(春季休業中)	教科書作品模写により生徒各				6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)	自の描写力の評価。レタリング					
		・教員、生徒自己紹介・教科書作品模写	練習による正確な描き込みの評価とその後の「文化祭ポスター」制作への展開を図る。	○	○	○		
		・教科書作品模写			○	○		
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	レタリング練習による正確な描き込みの評価と。「文化祭ポスター」制作ではアイデアスケッチでの構図、文字の配置、絵柄の内容を評価。			○	○	8
		・レタリング練習						
		中間考査						
		・自習						
	6月	・文化祭ポスター制作	「文化祭ポスター」制作ではアイデアスケッチでの構図、文字の配置、絵柄の内容を具体的に表現し、配色、絵の具材料の扱いを含め、表現できたかを評価。	○	○	○	8	
		・文化祭ポスター制作		○	○	○		
		・文化祭ポスター制作		○	○	○		
		・文化祭ポスター制作		○	○	○		
	7月	期末考査	(期末考査 7/1-7)					6
		答案返却						
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)						
		(夏季休業中)						
8月	(夏期休業中)							
2学期	9月	・文化祭ポスター制作☑	「文化祭ポスター」制作では作画から着彩まで完成できたかを評価。プリント学習では、課題内容を理解し、それを具体的に表現できたかを評価。		○	○	8	
		・「遠近の描き方」プリント学習			○	○		
		・「遠近の描き方」プリント学習			○	○		
		・「混色トレーニング」プリント学習			○	○		
	10月	・「混色トレーニング」プリント学習	「混色トレーニング」プリント学習では、課題内容を理解し、それを具体的に表現できたかを評価。			○	○	8
		・「混色トレーニング」プリント学習			○	○		
		中間考査						
		(セーフティ教室・農高祭準備)						
	11月	(農高祭)	テーマ「空想・幻想の世界」とし、木版画を制作。テーマの鑑賞とその理解、木版画の表現の特性の理解を評価。また長期に渡る課題となるので根気強く取り組む姿勢を評価。					8
		・「一版多色摺り」アイデアスケッチ制作		○	○	○		
		・「一版多色摺り」アイデアスケッチ制作		○	○	○		
		・「一版多色摺り」制作		○	○	○		
	12月	・「一版多色摺り」制作	テーマ「空想・幻想の世界」とし、木版画を制作。テーマの鑑賞とその理解、木版画の表現の特性の理解を評価。また長期に渡る課題となるので根気強く取り組む姿勢を評価。	○	○	○	6	
		期末考査						
		答案返却、行事						
		HR指導、学校行事、終業式						
3学期	1月	(冬季休業中)	テーマ「空想・幻想の世界」とし、木版画を制作。テーマの鑑賞とその理解、木版画の表現の特性の理解を評価。また長期に渡る課題となるので根気強く取り組む姿勢を評価。				8	
		・「一版多色摺り」制作		○	○	○		
		・「一版多色摺り」制作		○	○	○		
		・「一版多色摺り」制作		○	○	○		
	2月	・「一版多色摺り」制作	テーマ「空想・幻想の世界」とし、木版画を制作。テーマの鑑賞とその理解、木版画の表現の特性の理解を評価。また長期に渡る課題となるので根気強く取り組む姿勢を評価。				8	
		・「一版多色摺り」制作		○	○	○		
		・「一版多色摺り」制作		○	○	○		
	3月	学年末考査	(学年末考査 3/2-6)				4	
		答案返却、卒業式予行・卒業式						
		HR指導、学年集会、行事						
		(行事・特別指導)、修了式、(春季休業中)						
	履修上の注意				予定時数計			78
	特記事項等							

令和6年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数			対象学年・組					
芸術		音楽Ⅰ		(2 単位)	3A,3B					
教科担当者: (A組:山中淑江) (B組:山中淑江) (C組:)										
使用教科書: 教育出版 音楽Ⅰ Tutti+				使用教材等: 教科書・プリント・楽器・CDなど						
学習目標: 音楽の様々な活動を通して知識や技能を習得し、主体的に表現を創意工夫し、音楽文化に親しむ心情を育てる。										
観点別の評価基準										
【知識・技能】				【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
音楽の理論や構造、文化的背景などを理解し、表現するための技能を身に付けている				課題に対して自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫して取り組んでいるか。		主体的、協働的に音楽活動に取り組み、音楽を愛好する心情をもって取り組んでいるか。				
学期	月	指導内容・単元		具体的な指導内容・評価方法		知	思	態	予定時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)		音楽の授業の内容、注意事項の説明。					6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)								
		ガイダンス・ギター		「校歌」を覚え、のびやかな声で歌う。ギターの基礎を学び、		○	○	○		
		ギター・歌唱		簡単な曲を練習する。		○	○	○		
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休		(中間考査 5/14-19)		○	○	○	8	
		ギター・歌唱		「少年時代」など親しみやすい曲をのびのびと歌う。「よろこ		○	○	○		
		中間考査		びの歌」や音階をギターで練習する。		○	○	○		
		ギター・歌唱		する。		○	○	○		
	6月	ギター・歌唱・鑑賞		鑑賞はバロックと古典派の曲を学ぶ。		○	○	○	8	
		ギター・歌唱・鑑賞				○	○	○		
		ギターテスト・歌唱テスト		ギターテストは正確に弾けているか、歌唱はのびやかな声で歌		○	○	○		
		ギター・歌唱		えているかを評価する。		○	○	○		
	7月	期末考査				○	○	○	6	
		答案返却		(期末考査 7/1-7)		○	○	○		
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)		音階を練習し、更に広い音域の曲に取り組む。		○	○	○		
		(夏季休業中)								
	8月	(夏期休業中)								
2 学 期	9月	ギター・歌唱		各国の特徴を感じて外国の歌を歌う。ギターはコードを学び弾き語りをする。鑑賞はロマン派の音楽を学ぶ。		○	○	○	8	
		ギター・歌唱・楽典				○	○	○		
		ギター・歌唱・楽典				○	○	○		
		ギター・歌唱・鑑賞				○	○	○		
	10月	ギターテスト・歌唱・ミュージカルについて				○	○	○	8	
		ミュージカル鑑賞		ミュージカルの歴史を学び、色々な要素を理解して鑑賞する。		○	○	○		
		ミュージカル鑑賞				○	○	○		
		中間考査		(中間考査 10/14-17)		○	○	○		
	11月	キーボード・歌唱		(セーフティ教室・農高祭準備)		○	○	○	8	
		(農高祭)								
		キーボード・歌唱		鍵盤楽器の基礎を理解し、簡単な曲を練習する。		○	○	○		
		キーボード・歌唱・鑑賞		(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)		○	○	○		
	12月	キーボード・歌唱				○	○	○	6	
		キーボードテスト・歌唱テスト				○	○	○		
		キーボード・歌唱				○	○	○		
		期末考査		(期末考査 12/8-12)		○	○	○		
	3 学 期	1月	答案返却、行事				○	○	○	8
			H R 指導、学校行事、終業式				○	○	○	
(冬季休業中)										
2月		(冬季休業中)		ピアノの発明と変遷とピアノ曲の変化を学ぶ。		○	○	○	8	
		キーボード・歌唱・ピアノの歴史		歌唱は日本歌曲を歌う。キーボードは二重奏の練習をする。		○	○	○		
		キーボード・歌唱・ピアノの歴史				○	○	○		
		キーボード・歌唱・鑑賞				○	○	○		
3月		キーボード・歌唱				○	○	○	4	
		キーボード・歌唱				○	○	○		
		キーボードテスト・歌唱テスト・オペラについて		舞台芸術の歴史とオペラについて学び、ストーリーや音楽を味わう。(自宅学習・入選・採点2/20-25)		○	○	○		
		オペラ鑑賞								
3月		オペラ鑑賞				○	○	○	4	
						○	○	○		
		学年末考査				○	○	○		
		答案返却、卒業式予行・卒業式		(学年末考査 3/2-6)		○	○	○		
履修上の注意		出席状況・プリントや課題の提出・テストなど、しっかり授業に向き合うこと。								78
		特記事項等 特になし。								

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組					
英語	英語コミュニケーションⅡ	(2 単位)	3年A組、3年B組						
教科担当者:		(A組: 藤本) (B組: 藤本) (C組:)							
使用教科書:			三省堂VISTA English CommunicationⅡ	使用教材等: 自作プリント					
学習目標: 言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、中学校と高校生活前半までに習得した能力を更に伸長させながら、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション英語の能力の向上を図る。									
観点別の評価基準									
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】					
既習の事項が身につについており、授業の中で学習したことが適切な場面で使用することができるか。		学んだことを異なる場面でも、その論理・場面に応じた内容を表現できているか。		学習課題を学んだことを活かして取り組むことができるか。					
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数		
1 学 期	4月	(春季休業中)					6		
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)							
		品詞と文法	・1.2年次までに扱った文法事項を活用し、世界中の舞踊についての英文を読むことができるようになる	○	○				
		Lesson1 Section1 World Dance Performances			○	○			
	5月	Lesson1 Section2 World Dance Performances				○	○	8	
		オンライン学習デー(行事)、大型連休	(中間考査 5/14-19)		○	○	○		
		Lesson1 Section3 World Dance Performances	・「朝飯前」など日本でもなじみ深い慣用句が違う言語でも話されていることを理解しながら、既習事項の疑問詞、接続詞の新たな用法を理解し、英文として表現できるようになる。		○	○	○		
		中間考査			○	○			
	6月	間接疑問文			○	○		8	
		Lesson2 Section1 A piece of Cake				○	○		
		接続詞if	・「朝飯前」など日本でもなじみ深い慣用句が違う言語でも話されていることを理解しながら、既習事項の疑問詞、接続詞の新たな用法を理解し、英文として表現できるようになる。		○	○			
		Lesson2 Section2 A piece of Cake				○	○		
	7月	Lesson2 Section3 A piece of Cake					○	6	
		Lesson2 Section3 A piece of Cake					○		
		READ ON! Proverbs				○	○		
		期末考査				○	○		
	8月	答案返却							
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)	(期末考査 7/1-7)						
		(夏季休業中)							
		(夏季休業中)							
	2 学 期	9月	第5文型 SVOC (使役動詞)	第5文型であるS (主語) V (動詞)、O(目的語)、C (補語) を活用し、今までの英文にはなかった形を理解する。知覚動詞や使役動詞の存在を確認しつつ、実際の問題での活用を通して理解を深める。	○	○		8	
			Lesson3 Section1 Quokka			○	○		
			第5文型 SVOC (知覚動詞)			○	○		
			Lesson3 Section2 Quokka				○		○
10月		第5文型 SVOC (知覚動詞)2			○	○		8	
		Lesson3 Section3 Quokka	(中間考査 10/14-17)			○	○		
		READ ON! Platypuses	オーストラリアに棲息する「クオッカ」について教科書の文を読んで概要を把握し、それを伝え合うことができるようになる。またその際に「原形不定詞」について英文の構成を意識し、作文ができるようになる。		○	○	○		
		中間考査			○	○			
11月		形式主語 (不定詞)			○	○		8	
		(セーフティ教室・農高祭準備)							
		(農高祭)	(農高祭・振替・ボランティアの日 11/1-11/6)						
		Lesson4 Section1 Designing Stamps	・切手デザイナーとして働く玉木剛さんのインタビュー形式の英文を読むことを通じて、世の中にある生徒自身も目にしたことがあるだろうデザインや切手デザイナーという職業の特殊性を感じながら自身のキャリアについて考えるとともに文中で元気になる目的語を仮に置き換えて動詞の原形で表す「形式目的語」の文章構成を理解させる。		○	○	○		
12月		Lesson4 Section2 Designing Stamps				○	○	6	
		Lesson4 Section3 Designing Stamps				○	○		
		Lesson4 Section3 Designing Stamps				○	○		
		期末考査				○	○		
3 学 期		1月	答案返却、行事	(期末考査 12/8-12)				8	
			H R 指導、学校行事、終業式						
			(冬季休業中)						
			(冬季休業中)						
		2月	現在完了進行形	世界遺産「モン・サン・ミシュエル」が観光地になるまでに抱えてきた問題を英文で理解させ、時制の働きについて既習学習事項を踏まえて理解させる。	○	○	○	8	
			Leeson5 Section1 Mont-Saint-Michel			○	○		○
			過去完了形			○	○		
			Lesson5 Section2 Mont-Saint-Michel				○		○
	3月	完了形の復習			○	○		8	
		Leeson5 Section3 Mont-Saint-Michel			○	○			
		READ ON! Mother Poulard's Omelets	(自宅学習・入選・採点2/20-25)		○	○	○		
		Take a Break! 2				○	○		
	4月	(入選・自宅学習)						4	
		学年末考査			○	○	○		
		答案返却、卒業式予行・卒業式							
		HR指導、学年集会、行事	(学年末考査 3/2-6)						
	5月	(行事・特別指導)、修了式、							
		(春季休業中)							
		履修上の注意			予定時数計				78
		特記事項等							

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組					
情報		情報Ⅱ (2 単位)		3B					
教科担当者:		(A組:) (B組: 将口 美恵子) (C組:)							
使用教科書:		情報Ⅱ (東京書籍)			使用教材等:				
学習目標:		情報Ⅰで学んだ情報セキュリティや情報デザイン、データ分析の基礎知識を踏まえ、ただの利用者や消費者ではなく、生産や制作をする立場への理解を深める高度な情報活用能力を習得させる。							
観点別の評価基準									
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】					
多様なコミュニケーションの実現。情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めている。		様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に用いている。		情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価・改善し新たな価値を創造しようとしている。					
学期	月	指導内容・単元		具体的な指導内容・評価方法		知	思	態	予定 時数
1 学 期	4月	(春季休業中)							6
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)		課題作成の正確性・到達度					
		01 うわさの研究		・ 発問		○		○	
		02 地域のデータを可視化しよう		・ 観察			○	○	
	5月	03 人工知能と仕事を考える				○		○	8
		オンライン学習デー(行事)、大型連休							
		04 POSシステムを調べる		(中間考査 5/14-19)		○		○	
		中間考査					○		
	6月	05 プログラムで絵を描こう				○		○	8
		06 3Dの新製品の開発をしよう					○	○	
		07 キャラクターを動かそう				○		○	
		08 楽しく体を動かそう		課題作成の正確性・到達度			○	○	
	7月	09 情報をまとめよう		・ 発問		○		○	6
		10 学校PRプロジェクト		・ 観察			○	○	
		10 学校PRプロジェクト					○	○	
		期末考査 答案返却		(期末考査 7/1-7)					
8月									
2 学 期	9月	11 情報のチェックリストを作ろう				○		○	8
		12 プロジェクションマッピング		課題作成の正確性・到達度		○		○	
		13 データを地図上に可視化する		・ 発問		○	○	○	
		14 ガチャは何回引けば当たるのか		・ 観察		○	○	○	
	10月	15 データを整理しよう				○		○	8
		15 データを整理しよう				○		○	
		16 キーボードの配列を研究しよう		(中間考査 10/14-17)			○	○	
		中間考査							
	11月	16 キーボードの配列を研究しよう				○	○	○	8
		(セーフティ教室・農高祭準備)							
		(農高祭)							
		17 星座ランキングを分析しよう		(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)			○	○	
	12月	18 好きなものをマップにしよう					○	○	6
		18 好きなものをマップにしよう					○	○	
		19 ニャブレットを探せ!				○		○	
		19 ニャブレットを探せ!				○		○	
3月	期末考査 答案返却、行事		(期末考査 12/8-12)					4	
	HR指導、学校行事、終業式								
	(冬季休業中)								
	(冬季休業中)								
3 学 期	1月	20 顔検出とARを体験しよう		課題作成の正確性・到達度			○	○	8
		20 顔検出とARを体験しよう		・ 発問			○	○	
		21 小さな情報システムを作ろう		・ 観察		○		○	
		21 小さな情報システムを作ろう				○		○	
	2月	22 テキストマイニングしてみよう				○		○	8
		22 テキストマイニングしてみよう				○		○	
		23 掲示板システムを作ろう		(自宅学習・入選・採点2/20-25)			○	○	
		23 掲示板システムを作ろう					○	○	
3月	学年末考査 答案返却、卒業式予行・卒業式							4	
	HR指導、学年集会、行事		(学年末考査 3/2-6)						
	(行事・特別指導)、修了式、								
	(春季休業中)								
履修上の注意		定期考査は行わず、授業内の作業・日常点を総合的に評価する。					予定時数計		78
特記事項等									